



## JRRN の皆様へ

※日本語意訳 by JRRN 事務局

地球環境センター Global Environment Centre (GEC) ・マレーシア  
カリタサン博士 (ROL-POP 実施責任者、GEC 河川愛護プログラムコーディネーター)

# RIVER OF LIFE プロジェクト・住民啓発プログラム (ROL-POP) マレーシア国クラン川における取組み紹介

## RIVER OF LIFE (ROL) プロジェクトとは？

River of Life (ROL)は、現在、マレーシア政府により進められているマレーシア最大の河川再生プロジェクトで、クラン川（マレーシアの首都・クアラルンプールを流れる都市河川）の水質改善を主目的に実施されています。2020 年までにマレーシア水質基準の「Class IIB」レベルまで改善を図り、クラン川を活気に満ちた、高い経済価値を生み出す多様性に富む水辺へと再生することを最終目標に掲げています。

この ROL プロジェクトは、首相府傘下にある Performance Management and Delivery Unit (PEMANDU)の管轄で実施され、マレーシア連邦直轄地・都市生活福祉省が推進する「Greater Kuala Lumpur / Klang Valley plan（大クアラルンプール・クランバレー計画）」の一環に位置付けられています。ROL プロジェクトは、河川浄化、河川美化、そして河川開発の三つの柱で構成されています。



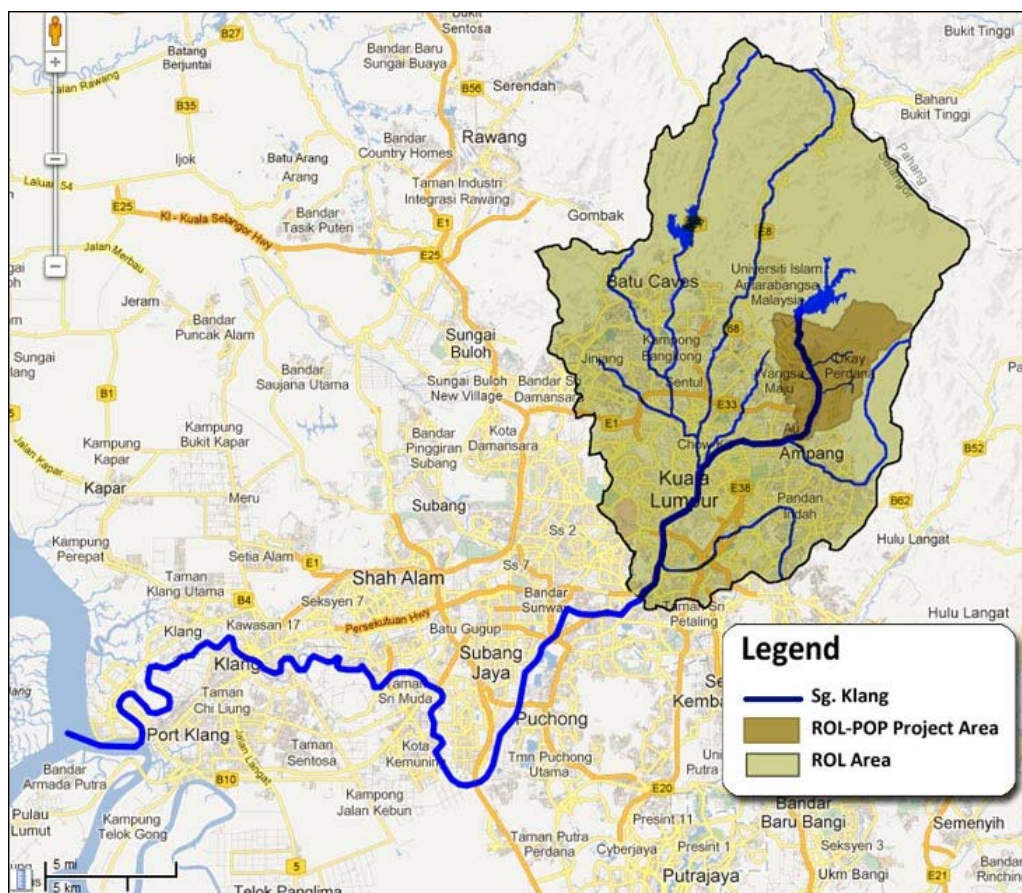
## ROL 住民啓発プログラム (ROL-POP)とは？

ROL 住民啓発プログラム（River of Life Public Outreach Programme: ROL-POP）は、本プロジェクトに関与する人々の協力関係（パートナーシップ）を醸成し、クラン川の水質環境に直接影響を与える人々・団体の態度や行動を改善していくことを狙いとしています。マレーシア政府天然資源環境省排水灌漑局が掲げる ROL イニシアティブの一つの取組として、ERE コンサルティンググループと地球環境センター（Global Environment Centre: GEC）が共同で実施しているものです。

## [1] ROL-POP プログラムの実施場所

クラン川の約 10km 区間（クランゲードダムから、クラン川とアンパン川合流点まで）、流域面積にして約 40km<sup>2</sup> の範囲を対象に ROL-POP プログラムを実施しています。対象地域の約 80%が Ampang Jaya 市に属し、残り 20%はクアラルンプール市に属しています。

対象地域は都市部に位置し、約半分が市街地として利用され、その内訳は約 38%が住宅地、商業地が 7%、工業地帯が 5%となっています。また、クラン川の主要支川として Kemensah 川、Sering 川、Gisir 川などが対象地域を流れ、総人口は約 146,000 人です。



## [2] ROL-POP プログラムの目的

ROL-POP プログラムは、対象地域の汚染負荷を削減することで水質改善を図るため、クラン川の水質環境に直接影響を与える人々・団体の態度や行動を改善していくことを主目的に取り組んでいます。具体的に対象地域の汚染負荷を削減するためのメニューは以下の通りです。

- 河川の水質改善に向けてできること、またやってはいけないことを、他の河川保全技術と同様に地域住民に教育する。
- 地元の河川に対する地域住民の所有感（オーナーシップ）を醸成する。
- 河川愛護に向けた地域の行動を長期間かつ持続的に向上させる。

### 【3】 ROL-POP プログラムの対象者

クラン川上流部における、「地域住民」「地元自治体」「学校」「飲食店やカフェ」「不動産開発業者」「工業関係者」の6つを対象としています。



ROL-POP targeted groups

### 【4】 ROL-POP プログラムの実施手順

ROL-POP プログラムの計画から実施までの手順は以下の通りです。

#### (a) 活発な関係者との話し合い

この ROL-POP プログラムに対する上記 6 つの対象者の協力を得ながら円滑に進めていくために、まずは関係者個別の密な意見交換を実施する。

#### (b) 関与する関係者相互の協力関係（パートナーシップ）の構築

問題点とその解決策を見出すことを目的に、政府機関、民間、NGO、また地元自治体や地域コミュニティの相互の協力・信頼関係を構築する。

#### (c) 参加型かつ実践的取組の推進

水質汚染の負荷削減に向けた実施可能な活動に、行政や地域コミュニティの参加を促す。また地域が伝統的に有してきた知見を実施する機会も行政や地域コミュニティに合わせて提供する。

#### (d) 汚染源の管理

上記を通じて発生源からの汚染管理を徹底し推進する。

#### (e) 良好で高性能な連携関係の構築

河川に関わる諸問題の解決に寄与する、政府機関、民間セクター、地域コミュニティによる良好で高性能な連携モデルを確立する。

#### (f) 流域レベルの統合的 Integrated River Basin Approach

対象流域における上流域から下流部までの取組に発展させ、居住者のニーズと流域が有する資源の活用のバランスを図る。

## 【5】ROL-POP プログラムを推進する上での戦略

ROL-POP プログラムは以下の7つの戦略を基本に進めています。

### 1. 関心と期待を高める

ROL-POP プログラムに対する地域関係者の関心を高めるため、河川の大切さ、美しさ、その恵みなどについて正しく伝えます。川がきれいになることが、新たな希望を生み出すことに繋がるという理解を深める。

### 2. 知識と技術を高める

自分達の日々の行為が環境にどのようなインパクトを与えるかについて、日々できることも含めて、理解を促す情報や訓練プログラムを提供する。具体には、対象となる人々の知識や技術を高めることのための訓練プログラム、ワークショップ、ポスター、展示会など。

### 3. 共同責任の精神を醸成する

河川とそれを取り巻く環境は自分達の共通財産であり、かつそれを保全する責任を有しているという意識共有を対象者の間に囿る。すなわち、地域住民の川に対する所有感を醸成する。

### 4. 汚染源を削減するための行動を興す

汚物削減プログラムやゴミのリサイクル等々、川への汚染負荷削減に寄与する現実的な行動を実行する。またそうした取組を支援するあらゆる対象セクターの代表者を形成する。

### 5. 協力関係構築の手助けをする

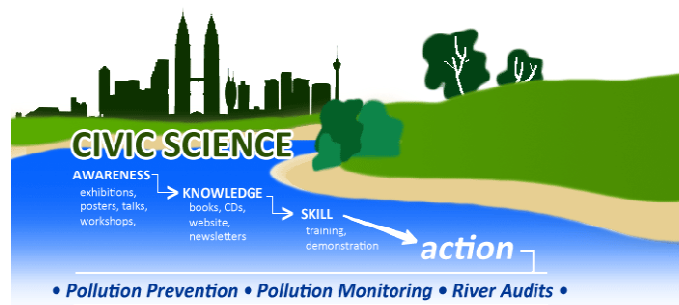
それぞれの取組を推進し所有感を高めていくため、内外関係者との協力関係を構築する機会や手段を提供する。また、企業や他の NGO が参加しスポンサーとなれる様な機会を生み出す。

### 6. 協力和やる気を提供する

政府機関は適切な支援とインセンティブを提供する。この支援には、行事を開催する際の会場や機材、移送手段の提供、運営面や資金の支援、ゴミの回収などのサービス提供などが含まれ、様々な取り組みの背後に行政が応援していることを示す。

### 7. 持続に向けたモニタリングと賞賛を行う

全てのプログラムや活動は記録に残し、また継続的にモニタリングする。また政府機関は継続的に活動主体を讃える。更に、成果（プロジェクトの成功）は速やかに公表し共有する。



ROL-POP プログラムの基本コンセプトとなっている Civic Science の考え方

## 【6】ROL-POPプログラムで期待される主な成果

1. 一般市民には
  - a. SMART Ranger (<http://www.smartranger.net/>)
  - b. RIVER Ranger (<http://www.riverranger.my/>)
  - c. 河川環境教育のための屋外授業
  - d. 河川環境教育センター（Zoo Negara）
2. 地域コミュニティには
  - a. SMART Ranger
  - b. RIVER Ranger
  - c. AU3 Park
  - d. PELITA
3. 学校には
  - a. SMART Ranger
  - b. RIVER Ranger
4. 不動産開発業者には
  - a. CIVIL
  - b. SC-VIP
  - c. SC-REVIVE
5. 工場関係者には
  - a. AU3 Park
  - b. MOTIF
6. 飲食店やカフェには
  - a. DapurHijau
  - b. PELITA

## 【7】ROL-POPプログラムの情報共有に向けた取組み

ROL-POPプログラムを実行する期間は、ROL-POP ウェブサイト(<http://www.myrol.my/>)を通じて関連する情報や活動参加者、具体活動履歴やその成果を共有する。更に、このROL-POP ウェブサイトとそのブログでは、地域住民の「河川に対する目と耳」の役割として、各活動主体により実施された河川モニタリング活動の報告やデータを更新していく。また、地域住民はこのウェブサイトを通じて、更なる行動に向け、問題となる行為や違法行為などを関係機関と繋がることも可能となる。

ウェブサイトを通じ、定期的に更新される本取組の情報や進捗が関係者に的確に伝えられ、最終ゴールの達成に向けた次なる行動を共有可能となる。

※ 更なる情報はROL-POP ウェブサイト (<http://www.myrol.my/>) や Facebook (<http://www.facebook.com/myrolpop/>) でご覧頂けます。

以上